



令和8年度 大野市開成中学校スクールプラン

【校訓】

誠実
連帯
創造

【学校教育目標】 主体的に学び、考え、行動しながら、自らの未来を切り拓く生徒の育成

【大野市教育理念】

明倫の心を重んじ育てよう大野人

【福井県教育振興計画】

一人ひとりの個性が輝く、ふくいの未来を担う人づくり

【目指す生徒像】

- 自ら学び続ける生徒
- 互いのよさを認め合い、協力できる生徒
- 夢や目標に向かって粘り強く挑戦できる生徒
- 自他の命を大切にする生徒

【目指す学校像】

誰もが『幸せ』を実感できる学校

- 生徒が毎日行きたい学校
- 保護者が安心する学校
- 教職員が働きがいを感じる学校
- 地域が誇りに思う学校

【目指す教職員像】

- 生徒一人一人を大切にする教職員
- 自ら学び続ける教職員
- 生徒の模範となり、行動で示す教職員
- 同僚と支え合い、協働する教職員

分かる授業づくり

【重点目標】

○学ぶ意義を実感し、主体的に学び続ける生徒の育成

【具体的な取組】

- ・「習得・活用・振り返り」を軸とした授業づくりを推進し、基礎・基本の定着とともに、思考力・判断力・表現力の育成を図る。
- ・他者との対話や協働する場面を設定し、自分の考えを深め、問題を解決する力の育成を図る。
- ・学びを深めるために、ICT機器を効果的に活用する。
- ・道徳科の授業の質的向上と多面的・多角的な価値理解を促すため、ローテーション授業を実施する。
- ・総合的な学習の時間で、地域の課題や魅力などの理解を深めるとともに、自己の生き方について考える力の育成を図る。

居場所・絆づくり

【重点目標】

○互いの違いや魅力を尊重し、協働して高め合おうとする生徒の育成

【具体的な取組】

- ・ポジティブ教育の視点を取り入れ、生徒の自己肯定感を高め、多様性を認める心の育成を図る。
- ・Q-Uテストを年2回実施し、学級集団の状況や生徒の心理面の変化を把握し、いじめや不登校の未然防止・早期対応につなげる。
- ・学級活動や生徒会活動を通して主体性と協働性を育成し、生徒自ら学校生活をよりよくしようとする自治的な態度を育てる。
- ・教育相談推進期間を年2回以上設定し、個別面談を通して生徒理解を深めるとともに、課題の早期発見・早期対応につなげる。
- ・人権教育を推進し、差別や偏見を許さず、多様性を認め合う態度の育成を図る。

安心・安全な学校づくり

【重点目標】

○優しさや思いやりをもち、主体的に行動しようとする生徒の育成

【具体的な取組】

- ・「時を守り、場を清め、礼を正す」を基盤とした指導を通して、規律のある生活習慣の育成を図る。
- ・「黙働清掃」を通して、清掃に集中する態度を育むとともに、周囲の状況に気づき自ら行動する力の育成を図る。
- ・心身の健康の保持増進や安全確保を図るため、健康教育や安全指導、防災教育を計画的に実施する。
- ・部活動を通して、主体的に活動に取り組む力を育むとともに、ルールやマナー、他者を尊重する態度の育成を図る。
- ・栄養教諭と連携し、食に関する指導の充実と安全に配慮した給食指導を推進する。

家庭・地域との連携

【重点目標】

○家庭・地域とともに子どもを育てる学校づくりの推進

【具体的な取組】

- ・学校だより、学年通信等を活用し、家庭や地域へ積極的に情報を発信する。
- ・学校公開を月1回実施し、教育活動の透明性を高め、保護者・地域との相互理解を深める。
- ・地域行事や地域ボランティアへの参加を推進し、体験的な学びを通して社会性や責任感を育成する。
- ・校長と保護者がざっくばらんに語り合う機会を学期に1回設定し、学校経営や教育活動に対する理解を深める。

数値目標

- 学校が楽しい【90%以上】
- いじめがないように取り組んでいる【90%以上】
- 話を聞いてくれる【85%以上】
- 夢や目標がある【80%以上】
- 主体的に学ぶ【90%以上】
- 授業が分かる【90%以上】
- みんなで何かをするのが楽しい【90%以上】
- 正しく判断して行動できる【95%以上】
- 挨拶ができる【90%以上】
- 地域に関心がある【65%以上】

【働き方改革の推進】 ・計画的な年休取得の促進 ・会議の開始と終了時刻の厳守 ・部活動指導の適正化（地域展開・部活動指導員の活用） ・教材研究の負担軽減（道徳ローテーション授業、ICT活用など）